



High Performance Group

# 株式会社HPG

Corporate Profile





# High Performance Group

私たちは「人・地球・環境」に視点をおきながら、常識にとらわれずにチャレンジし、常に新しい技術で安定した品質の商品やサービスを皆様に「安心・安全、そして喜び」とともにお届けする企業でありたいと考えております。

また、カテキンやビタミンCなどの水溶性の有効成分を第三成分（界面活性剤）の使用を一切することなく直接植物オイル（油性基剤）に溶解させることに成功した特許第3704609の管理運用をベースに各種の健康・美容のための製品などの販売と合わせて、皆様の衣食住やレジャー等多方面のコンサルティング業務に取り組んでおります。

そして、企業が環境や社会に配慮し、ガバナンスを履行できているかを自らがコミットする等のESG経営を目指しております。

株式会社HPG  
代表 **金山 正則**

## 世界初の技術

### カテキン／開発技術

食品添加物と水だけでできている

- ・ 保存安定性に優れたカテキン類含有水溶液組成物
- ・ 保存安定性に優れたカテキン水溶液の差別化

### 現行の課題

カテキン類を含むポリフェノール類は、水中に溶存する酸素や空気中の酸素により容易に酸化されるため非常に不安定である

水性溶剤に溶解した際には、期待される活性酸素除去作用等の有用な作用が低下するほか、酸化に伴って変色する等、その保存安定性に欠ける。その結果として、水性溶剤に溶解して液体状態で取り扱うことが困難であり、飲食品、化粧品、医薬品等へ応用する上で大きな障害になっている

## カテキン類含有水溶液組成物-技術説明-

当該技術は、水性溶剤中における保存安定性に優れたカテキン類を含む各種製剤、特に、優れた保存安定性を有し、しかも経時的な褐変化等の色調変化を伴わず、飲食品、化粧品やその材料、医薬品、工業製品等への配合剤として有用なカテキン類含有水溶液組成物に係る製剤の技術分野に属する。さらに当該技術は、カテキン類を含む製剤を用い、これを有効成分とする医薬、食料品、化粧品などの各種用途に係る各種製品に係る。

このカテキン類には、細菌への抑制効果と共にウイルスに対して抗ウイルス効果を発揮するとされる。特にウイルスは、その構造において突起（スパイク）を持っており、これを介して細胞に取りつくジョイント部分があり、スパイクはウイルスによってそれぞれ固有の構造である。このため、ワクチンによる予防は、体の中にウイルスの抗体を作り、その抗体がスパイクの特定構造をとらえてウイルスが細胞へ取りつきを防止するものである。このようなメカニズムであるため、例えばインフルエンザウイルスではスパイクの構造が異なるインフルエンザウイルスが複数あり、ワクチンで作られた抗体とスパイクの特定構造とが結合しなければ、インフルエンザウイルスの感染を防ぐことができないという課題がある。

一方、カテキンの抗ウイルス効果、つまりウイルスの人体等への感染を予防する効果は、ウイルスが細胞に取りつくジョイント部分を覆ってしまうものと思われ、種々のウイルスのスパイクの特定構造の違いによらず発揮することができると考えられる。

一般に、カテキン類を含むポリフェノール類については、生体内及び生体外での優れた抗酸化作用を持ち、体内の活性酸素を捕捉して除去することにより、活性酸素が引き起こす種々の疾患、例えば、癌、心疾患、炎症といった酸化ストレス疾患に対する予防効果が認められている。

また、ポリフェノール類は、その種類に応じて、それぞれ異なる特有の効果が奏される。

例えば、アントシアニンには視力の向上効果が報告され、イソフラボンには骨粗しょう症予防および治療効果が報告されている。ルチンには血管拡張効果が報告されており、飲食品や化粧品、医薬品等々、多くの用途への応用が期待されている。

しかしながら、カテキン類を含むポリフェノール類は、水中に溶存する酸素や空気中の酸素により容易に酸化されるため非常に不安定である。水性溶剤に溶解した際には、期待される活性酸素除去作用等の有用な作用が低下するほか、酸化に伴って変色する等、その保存安定性に欠ける。その結果として、水性溶剤に溶解して液体状態で取り扱うことが困難であり、飲食品、化粧品、医薬品等へ応用する上で大きな障害になっている。当該技術の目的は、上記の背景技術に鑑み、カテキン類が水溶液として長期間安定的に存在し、しかも経時的な褐変化等の色調変化を伴わず、飲食品や化粧品、医薬品等への配合剤として有用な水性液体（水性の剤）で保存安定性に優れたカテキン類を含む製剤を提供することにある。

当該技術の別の目的は、水溶性組成物の保存安定性が極めて良いことから、カテキン類を有効成分とする、日常的に常温で存置されることが多い健康食品、化粧品補助剤や、口腔ケア製品への添加剤を提供することにある。

当該技術によるカテキン類を含む組成物、製剤は、特に優れた保存安定性を有し、しかも経時的な褐変化等の色調変化を伴わず、また実質的に低級アルコールや界面活性剤を含まないので、生体への安全性が極めて高く、しかも保存安定性に優れている。したがって、食品、化粧品、医薬品等に配合すると、カテキン類の有益な健康効果や抗酸化効果を期待でき、健康上、産業上に極めて有用な技術である。

当該技術は、将来においても、食品、化粧品、医薬品等の広範な産業分野において重要な役割を果たしていくと考えられる。

新型コロナウイルスの出現に伴い、世界中で新しい生活様式を強いられなければならない状況となり、そして、人の生活だけでなく、産業全体でも新しい様式が生まれてきております。

21世紀は、「ウイルス感染症との戦い」という著書等も各種出版されているように、今後も未曾有の危機に見舞われることも予測されます。そのためには、新しい生活様式の中で、各自が自己防衛をしっかりと果たさなくてはならないこととなります。

現在、ウイルスに対する商品が各種販売されておりますが、当該技術であるカテキン類を水溶液として長期間安定的に存在し、しかも経時的な褐変化等の色調変化を伴わず、飲食品や化粧品、医薬品等への配合剤として有用な水性液体（水性の剤）で保存安定性に優れたカテキン類を含む製剤を提供することで、より安全性の高い優れた商品が開発できると考えております。

そして、当該技術の別の目的である水溶性組成物の保存安定性が極めて良いことから、カテキン類を有効成分とする、日常的に常温で存置されることが多い健康食品、化粧品補助剤や、口腔ケア製品への添加剤を提供することも可能となりうると考える。

開発

保存安定性に優れたカテキン類含有水溶液組成物である

## カテキン水溶液

長期間安定的に存在

経時的な褐変化等の  
色調変化がない

## 天然成分（緑茶カテキンEGCg）でウイルスの不活化に新展開！

社会生活を一変させた新型コロナウイルスの発生。

ワクチンや治療薬の開発が進む中、また新たな変異株の発生でますます予防対策が求められる現在、天然成分で抗ウイルス効果が期待できるとして、緑茶カテキンEGCgは国内はもとより海外でもウイルスに対する不活化効果が検証され発表されている。

しかし、抗酸化作用の高いカテキンEGCgは酸化劣化が激しく保存安定性に欠けるため、各種製品開発においてその点が大きな欠点でとなっていた。

この安定性に欠ける欠点を克服し、水中で高濃度のまま安定化させた製剤が開発され、インフルエンザをはじめ新型コロナウイルスなど変異を繰り返す様々なウイルスに対して、ウイルスたんぱく質に結合することで細胞への侵入を防ぎ、不活化効果があることが検証実験で明らかになった。

- 各種インフルエンザウイルスへの不活化効果については、九州保健福祉大学副学長・薬学部長・薬学科長の黒川昌彦教授を中地とした研究チームにて検証実験①を実施。
- 新型コロナウイルス及びSARSウイルスなど他のウイルスについての不活化効果は、国立大学大学院の研究チームにて検証実験②を実施。

## いずれのウイルスに対しても有効な不活化効果を確認！ 予防対策に新展開

保存安定性に優れた高濃度カテキンEGCgの水溶性製剤技術の開発に株式会社HPG（東京都中央区・代表取締役金山正則）が成功し、水溶液中で高濃度のまま安定化させる世界初の加工技術として、特許出願申請を開始した。

現在、この水溶液製剤は、10000ppmの高濃度で安定化されており、希釈により容易に濃度調整ができる。

また、安定化を実現させているすべての構成成分が厚生労働省が許認可する食品添加成分であるため、体内に入っても副反応などの心配もなく、お子様から高齢者まで安心して口腔ケアなどによる服用も可能。

また、添加濃度にもよるが、不活化効果を示す濃度であれば、カテキンEGCg特有の渋みや苦み、変色等で既存製品本来の味わいや香り・色合いに与えるダメージはほとんどなく、様々な分野の製品に展開できる。

## ●高濃度カテキンEGCg 製剤の可能性

現在、ウイルス感染予防対策商品が各種販売されているが、当該技術製品はウイルスは勿論、菌にも強い効果がある為、口腔ケアや手荒れの心配なアルコール製剤の代替品としての活用や台所や食品取扱の分野、さらには人だけではなく鳥インフルエンザや豚インフルエンザなどの予防対策としての活用など、幅広く展開できるものと考えられる。

### 検証データ概要①

緑茶にはカテキン類が多く含まれており、カテキン類の一種であるepigallocatechin gallate(EGCg)はウイルスの増殖過程において、細胞への吸着過程を阻害し、抗ウイルス効果を示すことが知られている。そこで、EGCgの抗インフルエンザウイルス効果とその作用機序を検証した。*In vitro*において4種のA型、B型インフルエンザウイルス株に対してMDCK(Madin-Darby canine kidney)細胞を用いたプラーク減少法を行うことで、EGCgの抗インフルエンザウイルス効果を検討した。その結果、**4種のインフルエンザウイルスに対して、ウイルス粒子の細胞への吸着あるいは侵入過程をEGCgが阻害することを確認**した。

### 検証データ概要②

「感染症パニック」という言葉に代表されるように、様々な感染症が生命と社会・経済に大きな打撃を与え続けている。そのため、現代社会において、感染症に対抗するための手段の確立は重要な課題であり、近年、様々な素材の抗ウイルス効果が注目をされ、EGCgをはじめとする植物由来成分も盛んに研究がおこなわれている。本研究では、現在、世界中で問題となっているSARS-CoV-2に近縁で、ヒトに風邪症状を引き起こすhuman coronavirus (HCoV) -229Eに対するEGCgの抗ウイルス効果を50% Tissue Culture Infectious Dose (TCID<sub>50</sub>) を指標に測定した。その結果、直接不活化効果と吸着阻害効果との相乗効果によって、**10ppmという低濃度のEGCgによって、一定の感染阻害効果が確認**された。

● **Microorganisms (2022年10月マイクロオーガニズムに東京大学大学院、黒川昌彦教授、(株)HPG社長 金山正則等連名で研究論文が掲載、世界に新技術として発信・発表された。)**

Epigallocatechin Gallate Stabilized by Cyclodextrin Inactivates Influenza Virus and Human Coronavirus 229E

Ryosuke Matsuura<sup>1</sup>, Arisa Kawamura<sup>1</sup>, Yasunobu Matsumoto<sup>1,2</sup>, Yoshiki Iida<sup>3</sup>, Masanori Kanayama<sup>3</sup>, Masahiko Kurokawa<sup>4,\*</sup> and Yoko Aida<sup>1,\*</sup>

*Microorganisms* **2022**, 10(9),

1796; <https://doi.org/10.3390/microorganisms10091796>

# 安定化に成功した高濃度カテキン(EGCg)水溶液

## カテキン(EGCg)水溶液の効果と特徴

**天然成分 (カテキンEGCg)でウイルスの不活化に新展開！**

天然成分で抗ウイルス効果が期待できるとして、緑茶カテキンEGCgは国内はもとより海外でもウイルスに対する不活化効果が検証され発表されている。この天然成分EGCgだけに特化し、水中で高濃度のまま安定化させた製剤が開発され、インフルエンザをはじめ新型コロナウイルスなど変異を繰り返す様々なウイルスに対して、ウイルスたんぱく質(スパイク等)に結合することで細胞への侵入を防ぎ、**不活化効果があることが大学の研究チームの検証実験で明らかになった。**

### ウイルスのメカニズム

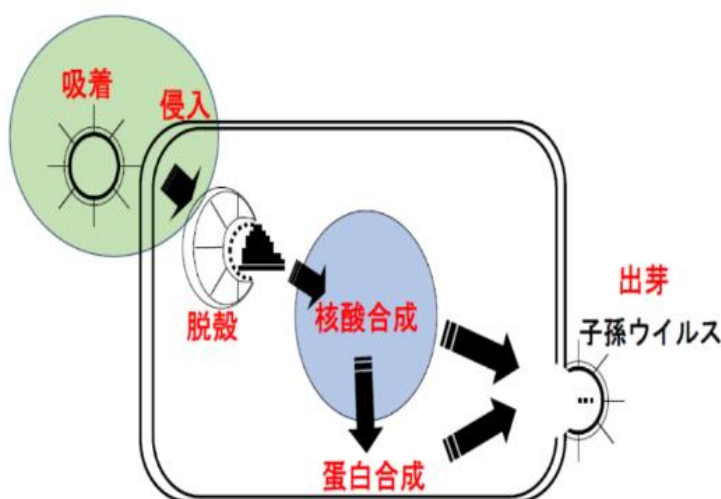


ウイルスは、その構造において突起（スパイク）を持っており、これを介して細胞に取りつくジョイント部分があり、スパイクはウイルスによってそれぞれ固有の構造である。このため、ワクチンによる予防は、体の中にウイルスの抗体を作り、その抗体がスパイクの特定構造をとらえてウイルスが細胞へ取りつくのを防止するものである。

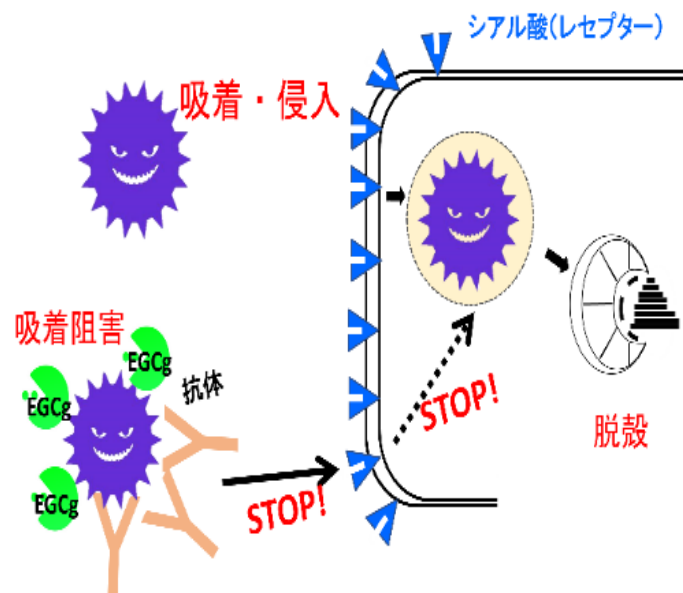
このようなメカニズムであるため、例えばインフルエンザウイルスでは スパイクの構造が異なるインフルエンザウイルスが複数あり、ワクチンで作られた抗体とスパイクの特定構造とが結合しなければ、インフルエンザウイルスの感染を防ぐことができないという課題がある。

一方、カテキンの抗ウイルス効果、つまりウイルスの人体等への感染を予防する効果は、ウイルスが細胞に取りつくジョイント部分を覆ってしまうものと思われ、種々のウイルスのスパイクの特定構造の違いによらず発揮することができる。

ウイルスの増殖サイクル



ウイルスの細胞への吸着・侵入過程と阻害効果



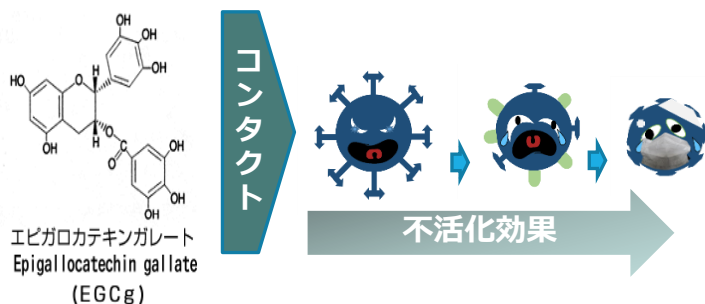
**ウイルスには増殖できる宿主細胞が必要！**

# カテキンEGCg水溶液によるウイルス不活化効果

## ウイルスの潜伏期間

- **新型コロナ**  
感染して発症するまで(潜伏期間)は約5日
- **オミクロン株**  
約3日で発症し、99%の人が7日以内に発症
- **インフルエンザ**  
1~3日で発症し、発熱が約2~3日続く

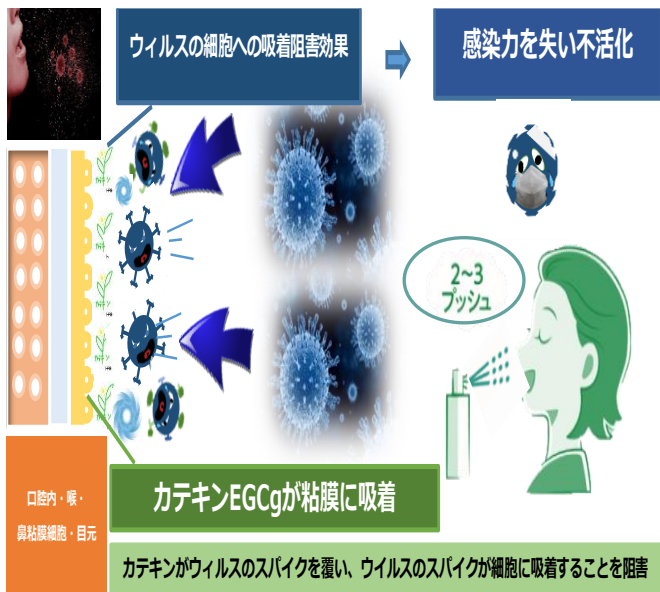
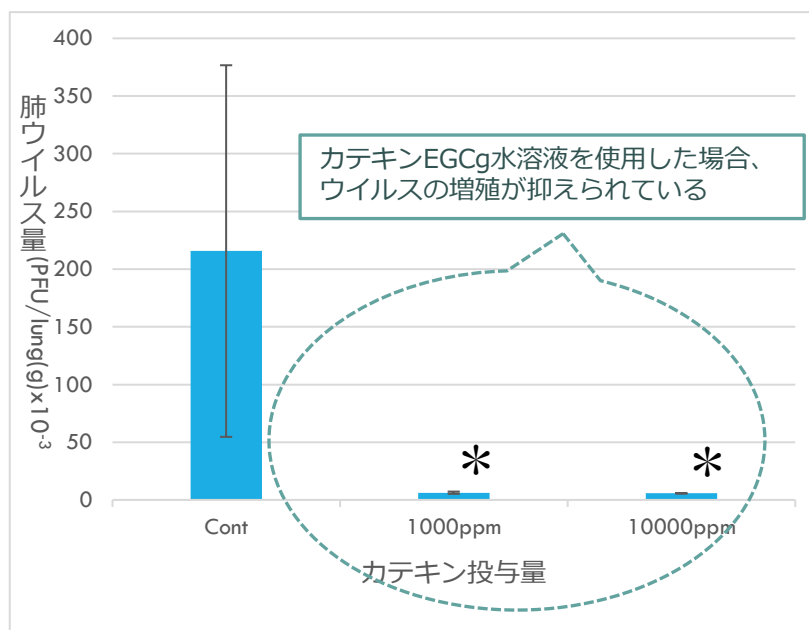
EGCgは抗体と同様にウイルスの細胞への吸着・侵入を阻害



### ◆EGCgの抗インフルエンザウイルス効果

インフルエンザウイルスA及びBに対して、EGCgは、細胞毒性を示す濃度より有意に低い濃度でインフルエンザウイルスの細胞への吸着・侵入を阻害した。ウイルス粒子とEGCgの直接コンタクトがウイルス感染阻害に有効。

### ◆EGCgを経鼻接種後のインフルエンザウイルス感染マウスの肺内ウイルス増殖の抑制



### ◆HCoV-229EのEGCgによる不活化のまとめ

EGCgは直接不活化効果と吸着阻害効果の二つの作用により、HCoV-229Eの感染性を減少させることが明らかとなった。また、そのEC<sub>50</sub>は約0.5 ppm~2 ppmであり、非常に低濃度で抗ウイルス効果を示すことが示唆された。

株式会社HPGが開発したカテキンEGCg水溶液は、インフルエンザウイルスやコロナウイルスの宿主細胞への吸着や侵入を阻害して抗ウイルス作用を示す。  
マウスを用いたインフルエンザウイルス感染系でもカテキンEGCg水溶液の抗ウイルス作用が確認できた。  
**EGCgとウイルス粒子との直接コンタクトが重要。**



## 『EGCg(エピガロカテキンガレート)とは?』

没食子酸エピガロカテキン（エピガロカテキン、Epigallocatechin gallate、EGCg）はエピガロカテキンと没食子酸のエステルであり、カテキンの一種でエピガロカテキンガレートとしても知られる。

EGCgは、植物の中で特にお茶に最も豊富に含まれている(59.1%)カテキンであり、強い抗酸化活性を示し、緑茶に含まれており、紅茶ではEGCgがテアルジンに変換されているため含まれていない。このEGCgは、**カテキンの中でも一番抗酸化作用が高く**、下記の様々な作用があることを知られる。

### ●抗ウイルス作用

カテキンは細菌にもウイルスにも効果があります。ウイルスは細胞の中で増殖します。インフルエンザなどのウイルスは体内に入ると、決められた細胞につく働きがありますが、カテキンを取り入れるとウイルスが細胞につきにくい状態になるので、細胞内で増殖できないため、結果的に風邪予防に役立ちます。

### ●虫歯・口臭予防

虫歯の原因はミュータンス菌が歯に付着し、酸をつくることで歯の表面のエナメル質が溶け、虫歯ができてしまいます。カテキンはミュータンス菌の増殖を抑えるので、虫歯予防ができます。

### ●抗菌作用

カテキンには抗菌作用があるので食中毒の原因となるO-157(腸管出血性大腸菌)などの食中毒菌や胃潰瘍や胃がんの原因となるピロリ菌の増殖もおさえるので、食中毒予防や胃潰瘍予防に働きます。

●抗酸化作用 ●抗ガン作用 ●コレステロールを下げる作用 ●血糖の上昇を抑える作用 ●肥満予防 など

## 保存安定性に優れたカテキン水溶液を添加した製品例

### 【製品の特徴】

<p>特徴 1 </p> <p>カテキンの渋味を感じさせない</p>	<p>特徴 2 </p> <p>添加した飲食製品の褐変等色調変化が起きない</p>
<p>特徴 3 </p> <p>スプレーとして喉や鼻腔など顔全体に噴霧等</p> <p>▼</p> <p>粘膜に長時間吸着する</p>	<p>特徴 4 </p> <p>少量の添加でも十分なカテキンを摂取することができる</p>

### 【様々な用途】

- ① カテキンEGCgスプレーとして喉や鼻腔など顔全体に噴霧し、直接粘膜にコンタクトさせることでその作用効果
- ② アルコールを使用しない抗菌スプレーとしてその作用効果
- ③ タブレット等で口腔内へ直接的にカテキンEGCgを吸着させることによるその作用効果
- ④ 人間だけでなく家畜等に直接噴霧したり、水に混合して飲ませることによるカテキンEGCgの作用効果  
※家畜にも自然にもやさしい消毒剤として
- ⑤ ペットの健康補助食品として
- ⑥ 各種お酒や飲料への添加により健康飲料として

※添加した製品は化学物質(例：低級アルコール、界面活性剤など)を一切使用していない食品添加物だけでできているため生体への安全性が極めて高い製品を開発することが可能

# 新発売『お出かけシリーズ』

このような悩みはありませんか？



マスクを外せるのは嬉しいけど……

- ・マスクの着用を個人の判断に委ねられるって言うけど、どこまで大丈夫なのか不安
  - ・病院・高齢者施設・通勤時の混雑した電車やバスの中ではマスクは推奨されるけど、ほかの場所は大丈夫なのか不安
  - ・花粉症や予防対策のために今まで通りマスクを着用していたら、ウイルスに感染しているんじゃないかと勘違いされないか不安
  - ・そのうち逆マスク警察みたいな方が出てきそうで怖くて不安
  - ・必要ないからマスクをはずしていいということではないから、本当にいつになったら以前のように普段からマスクを着用しなくていい日がくるのか不安
- だからこそ、マスクだけに頼らない、自分だけでなくみんなができるものはないのか!?

お出かけ時に



保存安定性に優れた天然成分（緑茶カテキンEGCg）のパワーを体感!!

お出かけミスト30ml

口腔化粧品



## 使用上のポイント

- ①口腔内にEGCgが付着するように2~3回程度プッシュして下さい。
  - ②顔全体に1回程度プッシュし、その際に鼻腔内や目の粘膜にEGCgが付着するようにご使用下さい。
- ※ミスト状のため、EGCgを直接粘膜にコンタクトさせることができます。**
- ③就寝前に口腔内に広がるようにプッシュしていただくと口腔ケアとしてもご使用いただくことが出来ます。

お出かけタブレット36g(ブドウ味)

ビタミンC含有食品



## 使用上のポイント

お出かけ前や食間に噛み砕かず、ゆっくり口の中で溶かしてお召し上がりください。EGCgが粘膜や口腔内に付着します。

粒が大きめですので、のどに詰まらせないようにご注意ください。

## その他商品群(一部)

例) 畜産用消毒液



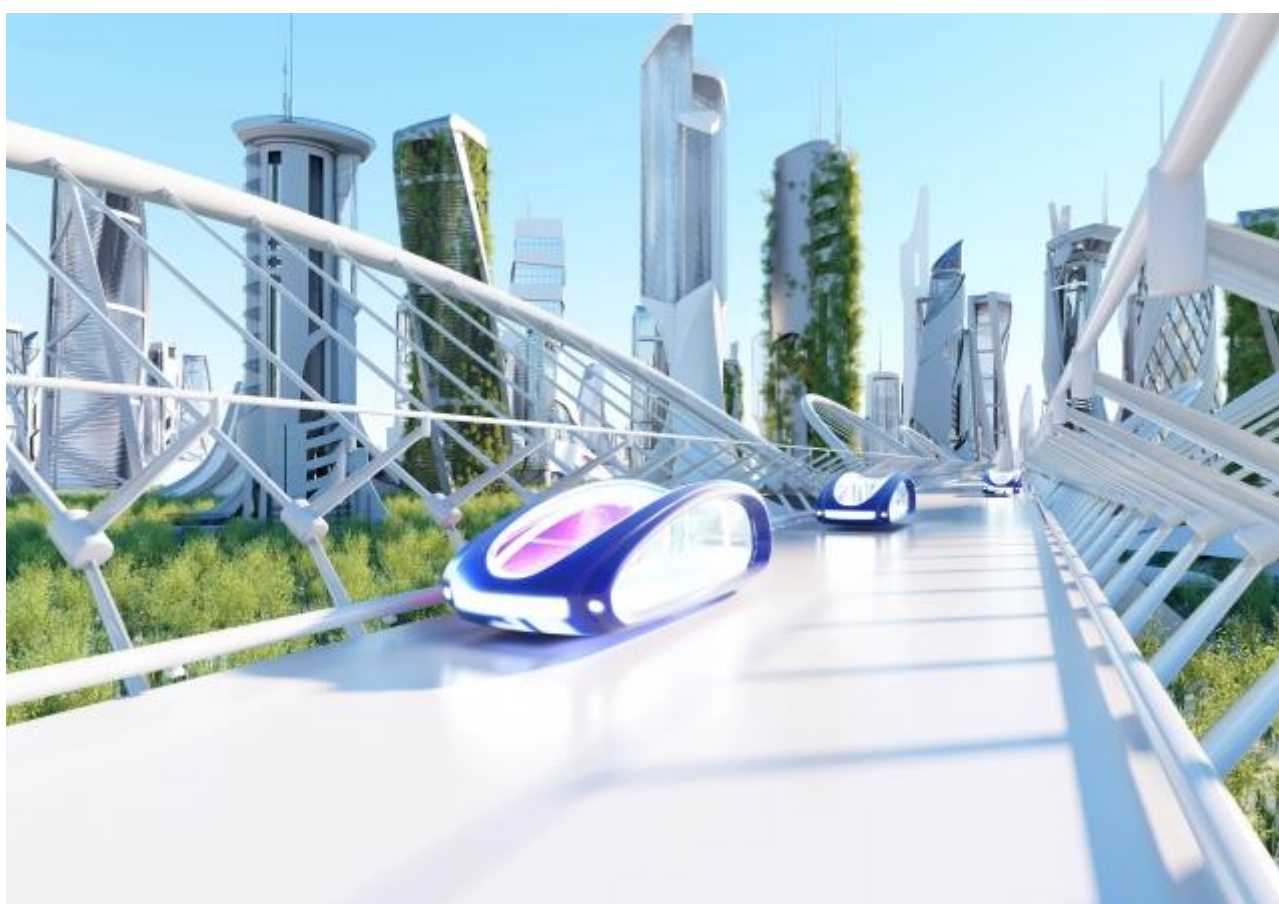
例) 抗菌スプレー



例) お酒・飲料



# HPGの考える 近未来構想



## HPGの考える近未来構想

世界中でコロナ禍によって新たな生活様式などがクローズアップされておりますが、コロナ（ウイルス）問題が終息に向かったからといって、世界では環境問題（地球温暖化）、資源・エネルギー問題、超高齢化社会の対応等の問題などの沢山の課題が山積みになっているのが現実です。

近年、AIやビッグデータなど先端技術を活用し、都市内の様々な事業やサービスに共通に使用できるデータ基盤を整備することによって、社会の在り方を根本から変えるような都市を設計する動きが国際的に急速に進展しています。こうした状況も踏まえれば、大胆な規制改革等によって、世界に先駆けて未来の生活を先行実現する「まるごと未来都市」を目指すスーパーシティ構想の実現を図る必要があるということで、政府が募ったスーパーシティ型国家戦略特別区域の公募には全国31の自治体が名乗りを上げています。

当社のAI（人工知能）や自動運転といった先端技術を組み合わせた「スーパーシティ」構想は、近未来構想の柱となっており、都市のDX（デジタルトランスフォーメーション）が人々の暮らしをどのように変えていくのか、そして、山積みになっている課題、特に環境問題・超高齢化社会の対応等の問題などを中心とした近未来構想を考えています。

## HPGの考える近未来構想への課題

環境・超高齢化社会への対応等の問題に取り組んだ持続可能な社会経済システムの構築、そして安全・安心な新たな価値を創造し続ける都市を創造し、人々の生活の質を高めていくことを目的としており、その一部をご紹介します。



### 課題：住居/単身

- すべての住居が超高齢化社会に合わせた建物ではない
- 一人暮らしの高齢者が病院へ通院するのは難しいなど

### 課題：移動/環境

- 環境問題
- 高齢者が一人で運転するのは困難
- 車椅子利用者等は、介添人がいないと困難
- 部屋から車までに移動が困難など

### 課題：医療/介護

- 救急車両の手配
- 介添人が必要な場合が多い
- 受付・診察に長時間待たされるなど

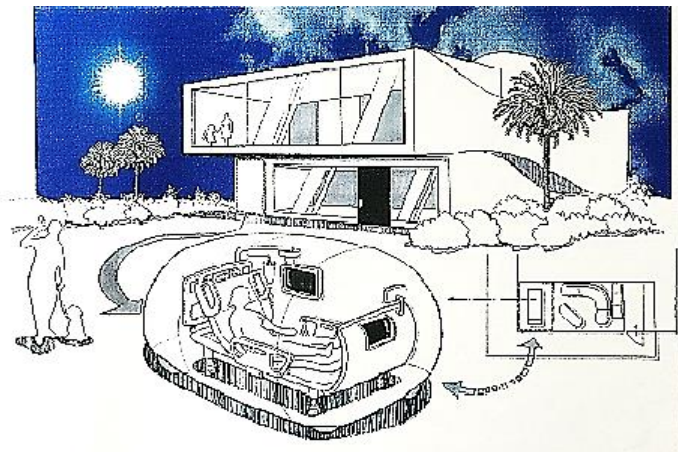
### 課題：移動/環境

- 高齢化の運転による事故が多発
- 環境問題
- 渋滞や交通事故などの道路上の課題など

# HPGの考える近未来構想

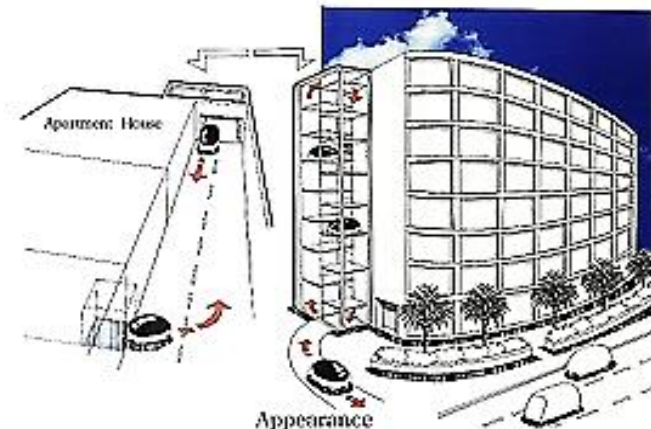
## 構想のポイント①

移動手段の車両を住宅に一体化した構造



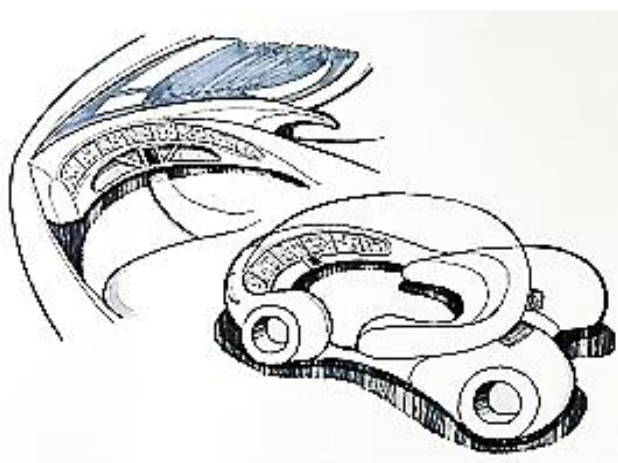
## 構想のポイント②

マンション等の共同住宅各専用部の居室から共同使用を可能とした車両の移動手段と住構造



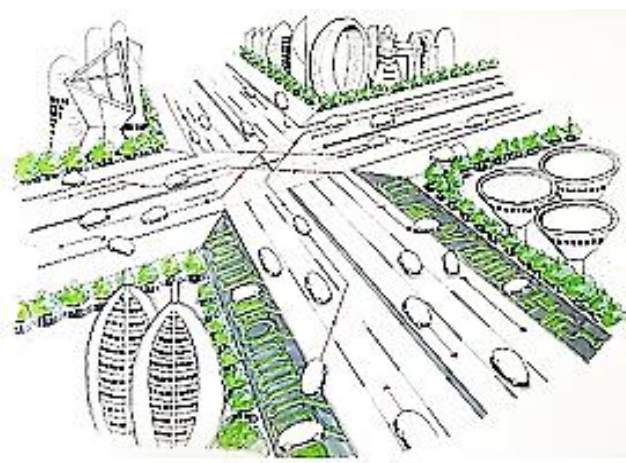
## 構想のポイント③

AI（人工知能）・ビッグデータ等のあらゆる先端技術を駆使し、スマートフォン等一つで運転可能、ハンドル・アクセル・ブレーキ等が不要な全自動の車両構造



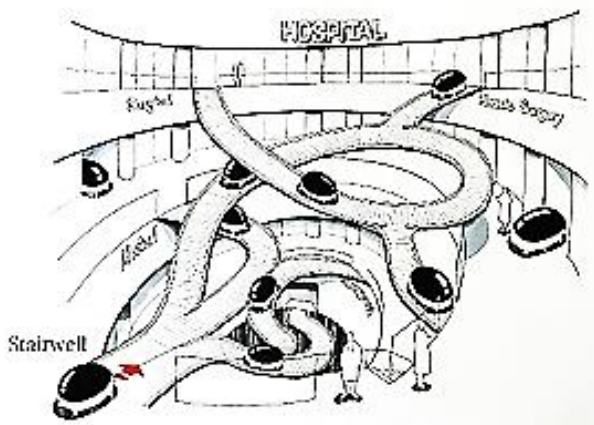
## 構想のポイント④

現道路の上に街を構成する二重構造のタウンを造り。道路上には、先端技術を駆使し、高度なインフラ整備を行い、信号等の不要な自動車走行環境を整備



## 構想のポイント⑤

自宅から病院へ寝ながら移動可能  
介添人が不要  
自動受付・診察・薬の手配まで一貫したシステムによる待ち時間なしの病院体制



## 会社概要

社名：株式会社HPG（HPG Co.,Ltd.）  
 所在地：東京本社 東京都中央区八丁堀3-18-9-4F  
 設立：2003年（平成15年）3月24日  
 資本金：1,000万円  
 代表者：代表取締役 金山 正則  
<https://www.h-p-g.jp/>



## 事業内容

緑茶成分「カテキン」含有の飲料水・化粧品・衣料品・衣料用繊維製品等の開発及び製造・販売  
 緑茶成分「カテキン」に関する特許権の取得、保有、運用  
 化粧品、石鹸、洗剤、歯磨、医薬品、医薬部外品、試薬、顔料の製造、販売及び輸出入  
 化粧品、石鹸、洗剤、歯磨、医薬品、医薬部外品、試薬、顔料等の製品の 原料、材料の製造、販売及び輸出入  
 医療器械並びに用具、文責測定機械器具、和洋紙類、文房具、衛生用品、 家庭用殺・駆虫剤、化粧具、髪（かつら）、  
 スポーツ用品、美術品、工芸品の製造、販売及び輸出入  
 宝石、貴金属製品の加工、販売及び輸出入  
 清涼飲料、食品添加物の製造及び販売  
 工業所有権、ノウハウ並びにコンピューター・映像・音楽などに関連する 各種ソフトウェアの取得及び販売  
 印刷、製版、出版及び写真撮影業務  
 音楽・美術・演劇・スポーツ等の催物の興行並びにこれに関連する入場券の販売  
 ホテル、結婚式場の経営並びにその受託及びコンサルティング業務  
 自動車運送業及び自動車運送取扱業、倉庫業並びに梱包業  
 不動産の売買、仲介、賃貸及び管理業、土木建築工事業並びに旅行業  
 損保保険代理業・自動車損害賠償法に基づく保険代理業並びに生命保険の 募集に関する業務  
 中古自動車の売買に関する業務  
 古物並びに古美術品の売買に関する業務  
 学習塾の経営  
 前各号に附帯する一切の業務

「既成概念を超えたアイデア」で課題に応え、私たちは「人・地球・環境」に視点を置きながら、常識にとらわれずにチャレンジし、常に新しい技術で安定した品質の商品やサービスを皆様に「安心・安全、そして喜び」とともにお届けするハイパフォーマンスな企業でありたいと考えています。



**High Performance Group**

